

学校だより

和



〒242-0018

大和市深見西 7-5-1

TEL : 046-261-0892

いつでもどんな時も新しい気持ちを応援しています。

校長 高井 文子

4月に新しい学校生活が始まった教室は、生徒のやる気に満ちた空気
 でいっぱいでした。入学式・始業式の前日まで、何もなく、ガランとしていた
 教室の壁面には、主役の生徒の登場とともに、「自己紹介」や「目標」、「係
 分担」などが所せましと掲示され、「勉強を頑張る」「良い一年にする」心意
 気がぐんぐん伝わってきました。

4月のこの「新しい」には、本当に意味があります。春の陽気や桜の花びら、
 新しい学年、教室、先生や友達、そのどれもが「新しく」、わくわくした気持
 ちを後押ししてくれて、多くの生徒が自己紹介カードや作文に「〇〇な自分に
 になりたい」という抱負を書いています。その言葉の一つ一つに、我々も力
 をもらい、とてもうれしい気持ちでいっぱいになりました。

そして、5月を迎えました。大型連休で始まった5月の学校は、桜色から
 緑色へと景色を変え、授業、行事、部活など忙しく頑張る生徒たちですが、
 「新しい」はすぐに「日常」になり、疲れたり、悩んだりして、「気持ちのリ
 セット」が難しくなってきました。授業や中間テストに向けて、頑張れない自
 分、行事の準備や部活など友達関係で悩む自分、やりたい自分になれない気がし
 て気持ちが暗くなることもあるでしょう。そんな時は、周りの応援が必要です。

「大丈夫、きつとうまくいく」「うまくいかない事もあるけど、そのままの君で
 いいよ」「簡単にあきらめなで、君ならできる」と、声をかけてくれる人がいる
 と、気持ちはまた、「新しく」なることができます。どんな時でも気持ちを新し
 くすればいいんです。こういう時こそ教員は、生徒にとって、絶対的な応援者
 でなければなりません。また、保護者の方もぜひ、応援をおねがいします。人は
 支え、支えられて成長していきます。応援されて頑張れた経験をした生徒は、
 応援できる人になれます。

いよいよ季節は春から夏へ。どんな季節も生徒と一緒に、「新しい気持ち」を
 忘れずに、頑張る気持ちを応援しながら支えあえる温かい学校になれるよう、
 声を掛け合っていきます。

